

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中濃特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年5月20日(月) 10:00~12:00
- 3 開催場所 中濃特別支援学校学校 特別棟会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者
- | | | |
|-----|--------|--------------------------|
| 会長 | 大谷 弘 | 各務原市手をつなぐ育成会理事長 |
| 副会長 | 伊藤 園美 | 岐阜県立ひまわりの丘第一学園園長 |
| 委員 | 朝倉 勝美 | せき防災の会代表 |
| | 梅田 美保 | 美濃市ひばり園サービス管理責任者 |
| | 太田 辰智 | 向山町自治会会長 |
| | 無量小路共美 | 本校同窓会後援会長 |
| | 雨谷 晴代 | 本校PTA会長 |
| | 澤井 基光 | 岐阜県民生委員児童委員協議会会長(欠席) |
| | 村田 泰弘 | 中部学院大学短期大学部幼児教育学科准教授(欠席) |
| 学校側 | | |
| | 大島 達史 | 校長 |
| | 平野 直子 | 副校長 |
| | 高井 和彦 | 事務部長 |
| | 遠藤 衣代 | 教頭 |
| | 長屋 陽子 | 小学部主事 |
| | 大宮 薫 | 中学部主事 |
| | 亀谷 真也 | 高等部主事 |
| | 外村 良文 | 教務主任 |

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和6年度学校概要と学校運営について

- ・アクションプラン2024、働き方改革プラン2024に基づく学校運営について
- ・教育計画について

意見1: ICT機器の活用について、具体的にはどのように進めているのか。

⇒高等部では、調べ学習や、学習成果の発表に活用している。また、選択教科として「情報」を設定している。

⇒小学部では、ICT機器を用い、校外学習の行先や学習内容を写真や絵文字で視覚的に提示して、児童が見通しをもち安心して取り組めるようにしている。また、学習発表会ではタッチパネルを活用し、児童らが操作して発表した例もある。ICT機器の活用とともに児童同士が直接関わり合って学ぶことも大切にしている。

意見 2 : 児童生徒の指導においてまず必要なのは個々の実態とニーズであり、一人一人に応じた指導や生活年齢に応じた配慮を行うことを重点としてはどうか。ICT 機器の活用はあくまでその手段である。

意見 3 : ICT 機器を使う際には、良い情報と悪い情報を見分けることが必要である。個々に合った ICT 機器とは何なのかを検討し、将来的に使えるものを見つけ、一人一人の豊かな生活につなげていくとよい。

意見 4 : ICT 教育において障害の重度な方にスポットを当てることが大切である。ICT 機器は補助的な支援ツールであり、発達段階に応じていろいろな使い方がある。重度の方にもどのように活用できるのか考えることが必要である。

◎教科指導の重点について、「生活年齢に配慮し、一人一人の教育的ニーズに応じた分かる授業の展開」について第 1 の重点とし、「ICT 機器の積極的な活用」を第 2 とする。

◎令和 6 年度の学校運営の方針について、全出席者より承認を得た。

(2) 令和 6 年度の教育課程について

- ・教育課程について
- ・年間行事計画について

意見 1 : 教育課程表の「特別の教科 道徳」が全て斜線になっているが、取組がないということか。

⇒「日常生活の指導」「生活単元学習」といった教科領域を合わせた指導の中で指導している。小中学部では教科書がある。

意見 2 : 道徳が位置付けられているなら、資料の表記を斜線にすると実施していないように見える。実施していることが分かるように表記するとよい。

意見 3 : 防災教育は行っているか。防災に関する訓練、体験を弛まらずコツコツと続けていくことが大切である。

⇒健康安全部が担当している。「生活単元学習」に位置付けて、どの部でも取組んでいる。

◎令和 6 年度の教育課程について、全出席者より承認を得た。

(3) 令和 6 年度学校運営組織について

- ・運営組織（学級担任等）について
- ・校務分掌について

◎全出席者より承認を得た。

(4) 高等部作業製品販売価格について

- ・各作業班の製品とその価格設定について

意見 1 : 岐阜県は木の国である。木材に触れ製作することで心の安定を図ることができる。木の素材を生かし、生徒の意欲が高まるような取組みをしてほしい。

意見 2 : 原材料費と売り上げについて知りたい。利益はどうなっているのか。

⇒利益は考えず、原材料費の必要経費のみから価格設定をする。

意見 3 : モルックの価格設定を下げたほうが購入しやすいのではないかと。

⇒原材料費からこの価格を算出した。

意見 4 : 製品製作時の木っ端に色を付けるなどして提供できるとよい。SDGs にもつながる。

◎高等部作業製品の販売価格について、全出席者より承認を得た。

(5) その他

意見 1 : 卒業生を 2 名採用している。ワークライフバランスの視点から、家族や趣味など、休

日の過ごし方も大切である。企業としては休日の行動まで把握することができないが、卒業した方々が集まれる環境があるとよい。また、障がいのある方のご家族への支援もあるとよい。また、「親亡き後」を考えると、各機関が連携して障害のある方のライフプランを共に考え支援することが必要である。

意見 2：新製品の発想が素晴らしい。生徒が意欲的に取り組むことのできるもので、且つ製品に仕上げることは難しいが、日頃から職員が製品開発を意識しアンテナを高くしていることが伺える。

意見 3：教育目標の「自分の良さを」「自分らしく」に共感した。日々の指導の中で「子どもより、職員の思いが先立っていないか」と振り返り「自分らしい自立」という視点に立ち返りたい。また、在宅の方が長く家族で家庭生活が送れるように、悩みを抱え込まずに早期に相談できるように学校からも伝えたい。

意見 4：障がいのある方は生活に課題があることが多い。学校卒業後も保護者は関わっていかなくてはならない。自立＝共立（支えがあって成り立っている）であり、卒業後の長い人生を社会で支える仕組みが必要である。

6 会議のまとめ

- ・第 1 回学校運営協議会では、出席した全委員より全ての協議事項について承認が得られた。
- ・児童生徒が当校を卒業した後の長い社会生活を一層豊かに送ることができるよう、学校は地域や関係機関と連携して取り組むことが必要である。また、その目的においては、保護者への積極的な情報発信も必要である。